

## 安全データシート

## N,N-ジメチルドデシルアミン

改訂日: 2024-05-09 版番号: 1

## 1. 化学品及び会社情報

## 製品識別子

製品名	: N,N-ジメチルドデシルアミン
CB番号	: CB7776762
CAS	: 112-18-5
EINECS番号	: 203-943-8
同義語	: N,N-ジメチルドデシルアミン,ジメチルドデシルアミン

## 物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途	: カチオン界面活性剤・両性界面活性剤・樹脂処理剤・消毒剤原料・アミノオキサイド・第四級アンモニウム塩原料, 顔料フラッシング剤
推奨されない用途	: なし

## 会社ID

会社名	: Chemicalbook
住所	: 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話	: 400-158-6606

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 分類実施日

H21.3.31、政府向けGHS分類ガイダンス(H20.9.5版)を使用

## 物理化学的危険性

火薬類	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス類	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	区分外
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類できない
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類できない

水反応可燃性化学品 分類対象外

酸化性液体 分類対象外

酸化性固体 分類対象外

有機過酸化物 分類対象外

金属腐食性物質 分類できない

#### 健康に対する有害性

急性毒性(経口) 区分4

急性毒性(経皮) 区分外

急性毒性(吸入:ガス) 分類対象外

急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない

急性毒性(吸入:粉じん) 分類対象外

急性毒性(吸入:ミスト) 分類できない

皮膚腐食性・刺激性 区分1

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分1

呼吸器感作性 分類できない

皮膚感作性 分類できない

生殖細胞変異原性 区分外

発がん性 分類できない

生殖毒性 区分2

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) 分類できない

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 分類できない

吸引性呼吸器有害性 分類できない

#### 環境に対する有害性

水生環境急性有害性 区分1

水生環境慢性有害性 区分2

## 2.2 注意書きも含む GHSラベル要素

### 絵表示

GHS05	GHS07	GHS09

### 注意喚起語

危険

### 危険有害性情報

H302 飲み込むと有害。

H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。

H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

### 注意書き

### 安全対策

P280 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

P273 環境への放出を避けること。

## 応急措置

P301 + P312 + P330 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。

P301 + P330 + P331 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

P303 + P361 + P353 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。

P305 + P351 + P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

P391 漏出物を回収すること。

## 保管

P405 施錠して保管すること。

## 廃棄

P501 内容物 / 容器を承認された処理施設に廃棄すること。

## 2.3 他の危険有害性

なし

---

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 化学物質
別名	: 1-(Dimethylamino)dodecane
化学特性(示性式、構造式等)	: C <sub>14</sub> H <sub>31</sub> N
分子量	: 213.40 g/mol
CAS番号	: 112-18-5
EC番号	: 203-943-8
化審法官報公示番号	: 2-176
安衛法官報公示番号	: 2-(10)-54

---

## 4. 応急措置

### 4.1 必要な応急手当

#### 一般的アドバイス

応急措置担当者は自分が暴露しないよう、適切な防護を行う。この安全データシートを担当医に見せる。

#### 吸入した場合

吸入後は新鮮な空気を吸うこと。ただちに医師の診察を受けること。

#### 皮膚に付着した場合

皮膚に接触した場合: すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。直ちに医師を呼ぶ。

#### 眼に入った場合

眼に触れた後は多量の水ですすぐこと。ただちに眼科医の診察を受けること。コンタクトレンズをはずす。

#### 飲み込んだ場合

飲み込んだ後は水を飲ませ(多くてもグラス2杯)、嘔吐を避ける(穿孔のリスクあり)直ちに医師を呼ぶ。中和させようとしないこと。

### 4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている

### 4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

データなし

---

## 5. 火災時の措置

### 5.1 消火剤

#### 適切な消火剤

水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素を使用すること。

### 5.2 特有の危険有害性

炭素酸化物

窒素酸化物(NOx)

可燃性。

蒸気は空気より重く、床に沿って広がることもある。

高熱で空気と反応して爆発性混合物を生じる

火災時に有害な燃焼ガスや蒸気を生じるおそれあり。

### 5.3 消防士へのアドバイス

自給式呼吸器がある場合のみ危険区域に留まってもよい。安全なゾーンまで離れるか適切な保護衣を着用して、皮膚に触れないようにすること。

### 5.4 詳細情報

ガス / 蒸気 / ミストを水スプレージェットで抑える（除去する）。消火水が、地上水または地下水のシステムを汚染しないようにする。

---

## 6. 漏出時の措置

### 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

救急隊員以外への助言: 蒸気、エアゾールを吸入してはならない。触れないようにすること。十分な換気を確保する。危険なエリアから避難し、緊急時手順に従い、専門家に相談のこと個人保護については項目 8 を参照する。

### 6.2 環境に対する注意事項

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

### 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

排水溝に蓋をすること。こぼれたら集めて結合させ、ポンプですくい取る。物質の制限があれば順守のこと (セクション 7、10参照) 液体吸収剤(例. Chemizorb®)で処置すること。正しく廃棄すること。関係エリアを清掃のこと。

### 6.4 参照すべき他の項目

廃棄はセクション13を参照。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 7.1 安全な取扱いのための予防措置

注意事項は項目2.2を参照。

## 7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

### 保管クラス

保管クラス(ドイツ)(TRGS 510): 8A: 可燃性、腐食性危険物

### 保管条件

密閉のこと。不活性ガス下に貯蔵する。二酸化炭素に反応する。

## 7.3 特定の最終用途

項目1.2に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない

---

# 8. ばく露防止及び保護措置

## 8.1 管理濃度

### コンポーネント別作業環境測定パラメータ

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

## 8.2 曝露防止

### 適切な技術的管理

汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。本物質を取り扱った後は手と顔を洗うこと。

### 保護具

#### 眼 / 顔面の保護

NIOSH (US) または EN 166 (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の保護具を使用する。密着性の高い安全ゴーグル

#### 皮膚及び身体の保護具

#### 要

#### 身体の保護

#### 保護衣

#### 呼吸用保護具

リスクアセスメントによりろ過式呼吸用保護具が適切であると示されている場所では、工学的制御のバックアップとして、多目的直結式 (US) または ABEK 型 (EN14387) 呼吸用保護具カートリッジ付き全面形呼吸用保護具を使用する。呼吸用保護具が唯一の保護手段である場合、全面形送気マスクを使用する。NIOSH (US) または CEN (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた呼吸用保護具および部品を使用する。

#### 環境暴露の制御

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

---

# 9. 物理的及び化学的性質

## Information on basic physicochemical properties

形状	液体
色	データなし
臭い	データなし
pH	データなし

-17℃ : NITE総合検索 (Access on June 2009)

271℃ : NITE総合検索 (Access on June 2009)

118℃ : NITE総合検索 (Access on June 2009)

データなし

データなし

データなし

<129mmHg (21℃) : NITE総合検索 (Access on June 2009)

データなし

データなし

0.787g/cm<sup>3</sup> : NITE総合検索 (Access on June 2009)

データなし

log P = 5.5 (計算値) : NITE総合検索 (Access on June 2009)

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

#### 融点・凝固点

-17℃ : NITE総合検索 (Access on June 2009)

#### 沸点、初留点及び沸騰範囲

271℃ : NITE総合検索 (Access on June 2009)

#### 引火点

118℃ : NITE総合検索 (Access on June 2009)

#### 自然発火温度

データなし

#### 燃焼性(固体、ガス)

データなし

#### 爆発範囲

データなし

#### 蒸気圧

<129mmHg (21℃) : NITE総合検索 (Access on June 2009)

#### 蒸気密度

データなし

### 蒸発速度(酢酸ブチル=1)

データなし

### 比重(密度)

0.787g/cm<sup>3</sup> : NITE総合検索 (Access on June 2009)

### 溶解度

データなし

### オクタノール・水分配係数

log P = 5.5 (計算値) : NITE総合検索 (Access on June 2009)

### 分解温度

データなし

### 粘度

データなし

### 粉じん爆発下限濃度

データなし

### 最小発火エネルギー

データなし

### 体積抵抗率(導電率)

データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

### 10.1 反応性

高熱で空気と反応して爆発性混合物を生じる

引火点より下のおよそ15ケルビンからの範囲は危険とみなされている。

### 10.2 化学的安定性

標準的な大気条件(室温)で化学的に安定。

推奨保管条件下では安定。

### 10.3 危険有害反応可能性

水と激しく反応。

### 10.4 避けるべき条件

強力な熱

### 10.5 混触危険物質

強酸化剤, 強酸

## 10.6 危険有害な分解生成物

火災の場合:項目5を参照

---

# 11. 有害性情報

## 急性毒性

### 経口

マウスを用いた急性経口毒性試験(OECD TG 401、GLP)のLD50値1,450 mg/kg (SIDS(2001))から区分4とした。

### 経皮

ウサギを用いた経皮投与試験のLD50値は約5,000 mg/kg (USCh (2002)) と記述されている。このLD50値は国連GHS急性毒性区分5に該当するが、国内では不採用区分につき、区分外とした。

### 吸入

吸入(ガス): GHS定義上の液体であるため、ガスでの吸入は想定されず、分類対象外とした。

吸入(蒸気): データがないので分類できない。

吸入(ミスト): データがないので分類できない。

## 皮膚腐食性・刺激性

ウサギを用いた皮膚刺激性・腐食性試験(OECD TG 404、GLP)で腐食性を示す(SIDS(2001))との記述から区分1とした。

## 眼に対する重篤な損傷・刺激性

ウサギにおいて「moderately irritating」(SIDS(2001))、ウサギの標準Draize 試験で「severe」な刺激性(RTECS(1997))、ヒトで「severe eye irritant」(HSDB(2003))との記述があり、いずれも定性的な評価である。皮膚腐食性物質であることから区分1とした。

## 呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性:データがないので分類できない。

皮膚感作性:データがないので分類できない。

## 生殖細胞変異原性

体細胞in vivo 変異原性試験として、本物質を70%含むジメチルアルキルアミン(他、C12-14-を25%及びC16-ジメチルアルキルアミンを5%)を用いたマウス小核試験(OECD TG474、GLP)において陰性(SIDS(2001))との記述から、区分外とした。本物質を用いたin vitro変異原性試験(細菌を用いたAmes試験(OECD TG471・TG472、GLP))でも陰性と記述されている。

## 発がん性

データがなく、IARC等の国際的に主要な評価機関による評価がなされていないので分類できない。

## 生殖毒性

ラットを用いた経口投与での生殖・発生毒性スクリーニング試験(OECD TG421、GLP)において、母動物への影響がみられる用量で、出産時生存児数の減少、死産の増加、平均着床後胚損失の増加、平均生存指数の減少がみられる(SIDS(2001))との記述から区分2とした。

## 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)

データがないので分類できない。



## 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)

ラットを用いた28日間経口投与試験(OECD TG407、GLP)において、軽微な影響(床材に鼻を擦りつける)がみられる(SIDS(2001))と記述されている。この影響は区分2のガイダンス値の範囲内で見られているが、重大な影響とは考えられないので採用しない。他にデータがないので、分類できない。

## 吸引性呼吸器有害性

データがないので分類できない。

---

## 12. 環境影響情報

### 12.1 生態毒性

#### 魚毒性

LC50 - Danio rerio (ゼブラフィッシュ) - 0.7 mg/l - 96.0 h

LC50 - Leuciscus idus (コイの一種) - 0.5 mg/l - 48.0 h

### 12.2 残留性・分解性

#### 生分解性

結果: > 60 % - 易分解性。

### 12.3 生体蓄積性

データなし

### 12.4 土壌中の移動性

データなし

### 12.5 PBT および vPvB の評価結果

化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB評価データはない。

### 12.6 内分泌かく乱性

データなし

### 12.7 他の有害影響

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

---

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1 廃棄物処理方法

#### 製品

内容及び容器は、関連法規及び各自治体の条例等の規制に従い、産業廃棄物として適切に処理すること。

---

## 14. 輸送上の注意

## 14.1 国連番号

ADR/RID (陸上規制): 2735 IMDG (海上規制): 2735 IATA-DGR (航空規制): 2735

## 14.2 国連輸送名

IMDG (海上規制): AMINES, LIQUID, CORROSIVE, N.O.S. (Dodecyldimethylamine)

IATA-DGR (航空規制): Amines, liquid, corrosive, n.o.s. (Dodecyldimethylamine)

ADR/RID (陸上規制): AMINES, LIQUID, CORROSIVE, N.O.S. (ドデシルジメチルアミン)

## 14.3 輸送危険有害性クラス

ADR/RID (陸上規制): 8 IMDG (海上規制): 8 IATA-DGR (航空規制): 8

## 14.4 容器等級

ADR/RID (陸上規制): II IMDG (海上規制): II IATA-DGR (航空規制): II

## 14.5 環境危険有害性

ADR/RID: 該当 IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当): IATA-DGR (航空規制): 非該当  
該当

## 14.6 特別の安全対策

なし

## 14.7 混触危険物質

強酸化剤, 強酸

---

# 15. 適用法令

## 海洋汚染防止法

有害液体物質(X類物質)(施行令別表第1)

## 化審法

優先評価化学物質

---

# 16. その他の情報

## 略語と頭字語

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

EC50: 有効濃度 50%

IATA: 国際航空運送協会

IMDG: 国際海上危険物

LC50: 致死濃度 50%

LD50: 致死量 50%

RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規則

STEL: 短期暴露限度

TWA: 時間加重平均

## 参考文献

- 【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>
- 【2】化学物質審査規制法（化審法） <https://www.env.go.jp>
- 【3】化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） <https://www.chemicoco.env.go.jp>
- 【4】NITE化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP） <https://www.nite.go.jp/>
- 【5】カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>
- 【6】ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>
- 【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>
- 【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト <http://www.echemportal.org/echemportal/index?>  
pageID=0&request\_locale=en
- 【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>
- 【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>
- 【11】HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>
- 【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>
- 【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>
- 【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

### 免責事項:

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。